

3. 取組み事例（1）対象者別事例  
②学校—高校生（木更津市）

② 学校（高校生）

市町村名	木更津市
------	------

取組みの具体的内容

講座の基本情報

受講対象者	高校生（私立木更津総合高校2年生福祉コース） ※初年度のみ2年生、3年生		
受講人数	27名（※毎年30名程度）		
講座開催時間	95分（13:45～15:20） ※授業の2講義分の時間	開催場所	クラスの教室
開催メイト数	2名	実施企画	地域包括支援センター
使用教材	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症サポーター養成講座標準テキスト <input type="checkbox"/> 認知症サポーター養成講座中学生用副読本 <input type="checkbox"/> 認知症サポーター養成講座小学生用副読本 <input checked="" type="checkbox"/> 100万人キャラバンDVD		
独自の取組み	紙芝居、DVD「支えあう認知症ケア」		

※■は使用教材。

カリキュラム

21分 （13:45～14:06）	○認知症サポーター100万人キャラバン ・DVD上映（キャンペーンビデオ）
29分 （14:06～14:35）	○認知症とはどういうものか、接する時の心構え ・紙芝居
31分 （14:35～15:06）	○グループで考えよう（グループワーク） ○相談機関について ○DVD上映（千葉県版） 「支えあう認知症ケア」
10分 （15:06～15:16）	○認知症予防について ○サポーターにできること
4分 （15:16～15:20）	○贈呈式 ○集合写真撮影

## 工夫点・特に気を付けていること

### （1）紙芝居の実施

- 接し方の違いでご本人がどのように変わっていくかが比較できる内容と絵になっているので一目瞭然わかりやすい。

### （2）グループワークの実施

- 1グループ4～5人で机を寄せてグループワークを行った。
- 一人一人にメモ用紙を渡し、1つ問題を出し、3つの答えの中から自分の考えに最も近いものを選び、その理由を紙に書いてもらった。
- 事前に教員から皆なかなかグループ内でも発言できないということだったので、紙に書いた内容をグループ内で一人一人が読み上げ、グループの中で一番数が多い答えをそのグループの答えとして発表してもらった。それぞれ自分なりに真剣に考えてくださり良い案が出た。答えに対するフォローをした。

### （3）福祉コースの生徒にとっては今後開始される福祉現場での実習に役立つ内容となるように構成している。

## 取組みの背景、講座開催のきっかけ

木更津総合高校福祉コースに対して、当地域包括支援センター開設の初年度（H20年度）に講座の紹介と実施の提案をしたところ、授業の時間の中で快く開催させていただいた。以後毎年依頼され恒例になっている。

福祉コースの生徒にとっては今後開始される福祉現場での実習に役立つ内容となるように構成している。

## 取組みの具体的効果、成果

- 生徒が主体的に参加するためのベースとして、まず自分なりに考えてくれるにはどうしたらよいかを考えた。
- 緊張せずに自分の考えを発表できるように工夫しグループワークを実施した。
- 一人一人自分の意見とグループの意見を記載し、発言する参加型の講座になった。

## 取組み上の課題点、問題点、解決策

複数のキャラバンメイト(関係先)から、オファーがある中で当センターを選んでいただき、毎年定期的開催させていただいている。今後も福祉コースの教員を介して福祉コースの生徒に受講していただけるように、魅力あるものを提供していきたいと思う。

3. 取組み事例（1）対象者別事例  
②学校—高校生（木更津市）

**問い合わせ先**

**【事務局】**

木更津市高齢者福祉課支援担当

TEL：0438-23-2695 / FAX：0438-23-7181